


2024年5月8日

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

株式会社関東エコリサイクル

グループ会社全体でのカーボンニュートラルの取り組みをさらに推進するため、 株式会社関東エコリサイクルで太陽光発電設備を拡充



関東エコリサイクルの建屋屋上に設置した
太陽光パネル(赤枠の  が新規に拡充した部分)

日立グローバルライフソリューションズ株式会社(以下、日立GLS)はグループ会社全体でのカーボンニュートラルの取り組みをさらに推進していくため、株式会社関東エコリサイクル(以下、関東エコリサイクル)でPPA^{(*)1}モデルによる太陽光発電設備を拡充し、5月上旬から稼働を開始する予定です。

日立GLSは、日立グループの一員として脱炭素社会をめざした日立の環境長期目標「日立環境イノベーション2050」に沿い、自社の事業所(ファクトリー・オフィス)での2030年度カーボンニュートラル達成に向けて、ファクトリー・オフィスでのCO₂排出量を2024年度には約83%削減(2010年度比)をロードマップとして、取り組みを推進しています。これまで日立GLSでは、栃木事業所(栃木県栃木市)における太陽光発電設備の導入や、本社(東京都港区西新橋)における再生可能エネルギー由来の電力の導入、多賀事業所(茨城県日立市)におけるEVフォークリフトの導入などを実施してきました。

使用済み家電品のリサイクルを手がける関東エコリサイクルでは、2019年に太陽光発電設備を導入しており、今回の設備拡充により、発電設備能力は579kW^{(*)2}、年間発電量は約773MWh^{(*)3}となり、これによる年間のCO₂排出量は約300t^{(*)4}の削減となる見込みです。また関東エコリサイクルでは、省エネルギー設備の導入など、2024年度以降も脱炭素に向けた取り組みを積極的に進めていく予定です。

日立 GLS グループは、パーパスとして「ひとりひとりに笑顔を、人と社会に優しい明日を。私たちは、未来をひらくイノベーションで世界中にハピネスをお届けします。」を掲げ、環境負荷の低減など社会的課題の解決に寄与する製品・ソリューションの提供に取り組んでいます。今後も、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みを加速していきます。

- (*1) PPA：「Power Purchase Agreement (電力販売契約)モデル」のことで、PPA 事業者が企業の敷地内に太陽光発電設備を設置し、発電された電力をその企業が購入するビジネスモデル。
- (*2) PCS (Power Conditioning System)出力による。
- (*3) 導入時のシミュレーション結果に基づく自社推計値。
- (*4) 環境省が公表している排出係数を元に算出。

■2023 年 11 月発表：家電製造におけるカーボンニュートラルをさらに推進するため、栃木事業所における太陽光発電設備の年間発電量を約 8 倍に拡充

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2023/11/1128.html>

■2022 年 6 月発表：家電製造におけるカーボンニュートラルをめざして、太陽光発電設備を導入

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2022/06/0630.html>

■日立グローバルライフソリューションズ株式会社の企業サイトおよびパーパスについて

企業サイト：<https://corp.hitachi-gls.co.jp/>

企業パーパス：<https://corp.hitachi-gls.co.jp/purpose>

■日立グローバルライフソリューションズについて

日立グローバルライフソリューションズは、家電・空調を中心としたプロダクト事業、ソリューション事業に加え、これまで培ってきた事業基盤と日立グループの総合力、またデジタル技術を活用したイノベーションを通じて、「360°ハピネス ひとりひとりに、笑顔のある暮らしを」という想いのもと、「暮らしの充実」「医療の高度化、充実」「循環型社会」そして「低環境負荷」の 4 分野を中心に生活者の QoL 向上に貢献するライフソリューションの創出、さらにグローバルアライアンスの強化による日立ブランド製品の海外販売とライフソリューション事業の海外展開を加速していきます。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
